

一九七七年二月一日第三種郵便物認可

ホームページ <http://shakatsushin.cool.coocan.jp/>

発行所 社会通信社

発行人 滝野 忠

e-mail: shakatsushin@nifty.com

東京都渋谷区本町六丁目二八の二コーポル幡ヶ谷九〇四 電話(03)337714649
振替 0010019158431 労金 中央労金本店 No.1154163

FAX(03)329915367

購読料 月額 (郵送) 350円・メール 175円)

6カ月前納制

〈もくじ〉

■巻頭言

悲鳴が聞こえる

沖縄からの報告

毛利 孝雄……2

労働者の寿命を縮ませる

― 駅遠隔操作システムに潜む、危うさ ―

国労上野支部反合研……4

女子労働者が働き続けられる職場環境

― 連合版「オトナの社会科見学」を読んで ―

大山 元……7

川内原発1・2号の地震動評価

― 原子力規制委は、「原発の安全性を保証する機関」と、勘違いされてはいませんか? ―

北畠 清仁……8

第二の人生、軌道に

― 藤保ご夫妻、若手ソバ農家とともに ―

11

読者からのおたより……

12

旬刊 社会通信

NO. 1174

二〇一四年八月一五号

二〇一四年八月一五号発行
(毎月一日・二五日二回発行)

悲鳴が聞こえる

沖縄からの報告

辺野古―悲鳴が聞こえる！

七月三〇日早朝の友人からのメール。

「朝早くすいません。これからゲート前向かいます。辺野古は確かに限界ギリギリですね。参加者一人ひとりの負担が大きすぎますね。僕も大した力にはならないとは思いつつも、コンクリート上と職場でウトウトの日が続いています。奇跡的に仕事に穴は空けてませんが。」

毎日機動隊とぶつかって疲れます。ただ僕が言うのも変ですが、あんな防衛局を守らざるをえない県警も気の毒です。陰では機動隊員にケガさせないよう気も遣いますよ。

昨日の夕方には第一ゲートの鉄柵を外そうと山城さんが上に乗って、首にベルト巻いて機動隊に『圧すなよ、首絞まるぞ』とやっていたのは、傍らにいてつらかった。涙目で止めに入る事務局長もつらいでしょう。

バイクは二度目の煙を吐きましたが、僕もブイ設置までは今の職場と辺野古の行き来をします。それぞれの場で頑張りましょう。」

沖縄生活でお世話になった少なからぬ沖縄の知人・友人たち、それも私より上の世代の先輩たちが、辺野古の陸と海で阻止行動の先頭に立っていることを思うと、胸が締めつけられる。そして「それぞれの場で」何ができるかを自問する。

それにしても一部を除いて「本土」メディアの沈黙はどうしたことか。「集团的自衛権」では論陣を張りながら、その「集团的自衛権」の目下の核心現場である辺野古については、ほぼ無視を決め込んでいる。

「沖縄の基地負担軽減」が喧伝され、政府圧力に屈して自民党沖縄選出国會議員が「県外移設」公約を破棄し、次いで仲井真知事が辺野古埋立を承認したのは昨年末。たった七ヶ月前のことである。そしていま、沖縄で進行しているのは桁外れの軍事要塞化の強要である。「沖縄の基地負担軽減」など、すでに死語に近い。

沖縄―桁外れの軍事要塞化

あらためて簡潔に整理すると―

まず辺野古新基地。大浦湾側軍港機能を整備し、さらに強襲揚陸艦が接岸できる規模に拡大。隣接するキャンプシュワブ内陸部に多数の軍関連施設建設を計画。F35ステルス戦闘機の運用とそれに伴う訓練空域の拡大。これが普天間基地の代替施設なのか。

次に自衛隊配備。奄美大島・宮古島・石垣島への陸自島嶼防衛初動警備部隊配備計画。与那国町へは艦船・航空機監視レーダー設置と沿岸監視部隊の配備。那覇空港を民間と共用する空自は、那覇基地への早期警戒機E2C早期警戒機四機配備と、F1

5 戦闘機部隊の一個から二個飛行隊への倍増。さらにF15の下地島空港利用。那覇空港第二滑走路建設は、こうした空自増強を前提としている。

加えて陸自が導入するオスプレイの佐賀空港配備要請。これには普天間の海兵隊オスプレイの暫定使用も想定される。『沖縄タイムス』社説は、次のように喝破している。

「沖縄の負担軽減のためだと本気で考えるのであれば、普天間飛行場の県内移設を断念し、その機能を佐賀空港に移したほうが分かりやすい。それを佐賀県が拒否するのであれば、沖縄県内にも移設すべきではない。…実態は沖縄、佐賀両県に日米が共同で使用することのできる新たな基地を建設するという負担増の話だ」
(二〇一四・七・二三)

「集団的自衛権」行使容認は、沖縄・「本土」をつらぬく一層の日米軍事一体化をもたらす。その中心が沖縄米軍基地と増強配備される自衛隊であり、辺野古新基地はその中核基地の役割を果たすことになる。『集団的自衛権』の目下の核心現場とする所以である。

このようななかで、沖縄は自身の自画像をどのように描き、未来を選び取るのか。沖縄県知事選は、一月一六日投票である。

「それぞれの場で」

今までお願いにかかわることには触れてきませんでしたが、今回はいくつか。

①何より沖縄の現実を知るために！

・『沖縄タイムス』『琉球新報』のHPで、主なニュース・社説を読むことができます。
・辺野古の動きは、「へり基地反対協議会」のHPからブログ「今日の辺野古」を検索。毎日の動きを動画配信。

・高江の動きは、HP「やんばる東村 高江の現状」を検索。

②可能な方は辺野古へ、高江へ。ぜひ現地と現場を自身で体験してほしい。

③東京近郊のみなさんへ。沖縄一坪反戦地主会関東ブロックなどつくる「辺野古への新基地建設を許さない実行委員会」は、毎月第一月曜の十八時三〇分から市ヶ谷防衛省前で抗議集会を開いています。

④最後に沖縄の友人の関わる「Save Henoko Action @合意してないプロジェクト」から署名のお願いです。賛同いただける方は、以下の要領で。

辺野古沖工事強行抗議の声明

ご一読いただき、賛同していただける方は、八月六日までに以下のメールアドレスにご一報ください。その際、以下の点をお知らせ下さい。

〈送付先 henokocurrents@gmail.com〉

- 1、氏名（非公開の場合はその旨記してください）
- 2、所属や肩書き、専門分野などを記載してください（非公開の場合はその旨記してください）
- 3、メールアドレス

名護市東海岸大浦湾と辺野古沖における

海底ボーリング調査の強行に抗議する

内閣総理大臣 安倍晋三殿

米国大統領 バラック・オバマ殿

沖縄県知事 仲井真弘多殿

日本政府は、普天間代替施設建設のため、名護市東海岸大浦湾と辺野古沖における海底ボーリング調査を強行しようとしている。これは、新たな軍事基地の建設に強く反対する沖縄の人びとの意志に反しており、地域の生活と環境、民主主義を著しく破壊し、沖縄をさらに軍事化しようとする暴挙である。

しかも、日本政府は、公有水面埋立の承認手続きに際し、環境保全のための法遵守の責任を放棄し、皆さんの環境アセスメントの下に工事強行を図ろうとしている。また、日本政府は沖縄県に対してもその責任放棄を迫り、沖縄県は、公有水面埋立て承認手続きにおいて、日本政府の圧力に屈して埋立てを承認し、工事の着手を認めるに至った。その過程は、沖縄に生きる人びとの尊厳を深く傷つけるものであった。

現在、日本政府は新たな基地建設の工事を強行するため、過剰な警備、さらには刑事特別法の適用をちらつかせ、なりふり構わない米軍への「協力」をおこない、大浦湾と辺野古沖の提供制限区域の拡張さえおこなっている。

日本政府の工事着手に対して、わたしたちは満腔の怒りをもって抗議する。工事と海底ボーリング調査の即時中止と基地建設計画撤回を要求する。

二〇一四年七月二九日

Save Henoko Action ④ 「合意しない」プロジェクト

〔二〇一四年七月三二日、毛利 孝雄（沖縄大学地域研究所特別研究員）〕

労働者の寿命を縮ませる

― 駅遠隔操作システムに潜む、危うさ ―

「駅遠隔操作システム」による改札窓口無人化計画については、この「討議資料」でも二回にわたり（No.一〇四、一一五）、その恐るべき内容と問題点をお知らせした。今年の二〜三月、首都圏一八駅（上野支部内では田端・王子）に導入されたが、東京支社は今年度も、常磐線を中心に一六駅でシステム導入やそれ以外の効率化施策（業務委託）を検討している（四月七日、地本に説明）。

詳細について明らかでない点も多いが、「想像の翼」を広げてその問題点を考え、団交で会社を追及する材料を豊富化して、反合理化の闘いを作り出していきたい。

駅の早朝無人化と、更なる要員削減につながる

東京支社から説明された検討箇所は、代々木、十条、北赤羽、田端、尾久、三河島、南千住、北松戸、馬橋、新松戸、南流山、北小金、南柏、北柏、天王台、取手の一六駅である。その後、会社側から見直し計画として、「取手は計画から除外。遠隔操作の制御駅は新松戸、みどりの窓口を委託して遠隔操作にも対応。八駅を対象に早朝無

無人化。三河島・尾久（ともに早朝無人化）の制御駅は田端。十条の委託口、北赤羽の浮間口は無人化。」等が出されたようで、さらに「南柏・天王台等の委託。早番遅番で二徹の駅は、早朝無人化になるから遅番二徹体制。」などという話も漏れ聞こえる。しかし会社が億単位の設備投資をする以上、必ず、JESS への委託金額切り下げ・要員削減をしてくるだろう。

ここで注意しなければならないのは、東京支社内で二〜三月に実施された先行五駅はどれも改札口が二口以上ある駅であり、今回の検討箇所では、改札口が一つしかない駅が尾久から天王台まで一駅もあるということだ。これらの改札口で早朝時間帯が無人化されれば、それはイコールその時間帯、都区内周辺駅で無人駅が出現することになり、旅客の安全・サービス上ゆゆしき事態となる。

支社は一月一〇日の先行五駅についての団交で、「都心で無人化を進める考えはない、同じ駅の中でのスリム化」と言っていたが、「舌の根も乾かぬうちに」との表現はこの場合のためにあるようだ。さらに団交で、地本から「お客さまに優しい鉄道サービスの追求」（「経営計画」）との整合性を尋ねられた支社は、「サービス追求」と「台所事情」は「矛盾・相反する命題」と認め、「何が正解かは難しい。」と、しどろもどろ・開き直りの回答（「国労東京電送No.94」）になり、滑稽でさえある。

「インターネットやIC化が進み、駅社員を介さず駅を利用できるようになった」としても、人を介して利用するお客も多くいる。会社はそれでも、不便を感じるお客については見ないふりして効率化を強行する姿勢だ。

早朝駅無人化 遠隔操作システムでは対応できないと考えられる諸問題

以下、例をいくつかあげてみるが、職場でも議論して豊富化していただきたい。

① 旅客の安全

線路に靴などを落とした場合、列車の間合いがある早朝などは、社員がいなければ、客は自分で線路に下りて拾う可能性が高くなる。会社としては、避けなければならぬ典型事例だ。

② 販売機器類のもつ弱点

見当たらない駅員を呼び出すために、券売機や精算機の「係員呼び出し」ボタンを押すと、その機械は、現地で社員が復帰させない限り稼働しなくなってしまう。MV35では、「クレジットお客様控え」の取り忘れだけで機械は稼働しなくなる。

③ 旅客へのサービス

早朝は定期券購入が多く、新規の場合、経路選定の難しさからくる問い合わせが多く、特に外国人や通学定期券は、一緒に機器を操作する案内なしには買えない。早朝は列車本数が少ないため、松戸等快速停車駅での接続時刻問い合わせが多い。車いす・白杖の旅客の乗車・降車案内。

④ 駅の美化

ある駅で、初電二本目で下車した客に、エスカレーター・自動改札機・コンコースに汚物をぶち撒かれたことがあり、社員が掃除しないことには駅が使用に耐えなかつたことがある。

⑤ 列停の寢室設置なども含め、こんなこと①～④で一々起こされたのでは、身が持たない。

「制御駅」の苦労も、計り知れない

① 先行五駅の場合と異なり、一つの駅が多数の駅を「制御」することになり、制御機器はかなりの数となる。「見逃し」の発生回避や問題の同時多発の可能性など、社員の精神的負担は計り知れない。

② インターホン等でお客から案内を請われた場合、会社が想定しているのはICカードの出場処理程度であり、被制御の各駅でこれまで行ってきた丁寧な案内(右の③)は、ほとんど不可能になる。何よりも、先行五駅の経験では、身振り手振り笑顔を加えて対面で案内するのに比べると、インターホン等を通じた声だけの案内は、ノイローゼになりそうなくらい苦痛だという。

遠隔操作実施駅で起きた、「シャッター開扉遅延」を考える

「六月一八日、馬喰町駅において、駅内一部シャッターの開扉遅延が発生した。当該箇所のシャッター(全六扉)はタイマー制御により四時四〇分に自動で開扉するが、そのうちの二扉が開扉しなかった(原因調査中)。五時二〇分頃お客さまから申告を受け、五時二二分頃当該シャッターを開扉した。当該箇所のルールでは、シャッター開扉をモニターで確認し、隣接駅に連絡を行うことになっていたが、見逃したまま連絡し、確認簿に正常と記入していた。五時〇八分成田空港行、五時一九分横須賀行は既に発車していた。」

この後、「留意事項」の一つに、「シャッターが開扉したことを目視で確認」と書かれている。(平成二六年六月一八日、東営業No.一〇一六「注意喚起」より)

問題点

① 馬喰町駅(JR直轄駅)は、今年二月に駅遠隔操作システムが導入され、地下一F西口から約二〇〇m離れた地下一F東口が無人工化された(要員四徹→三徹)。同時に地上にあるシャッター六扉もタイマーにより自動的に開くようになり、西口にいる社員がモニターで東口機器の立ち上がりやシャッター開扉の確認を行うことになっている。今回の「開扉遅延」について会社は、社員が「見逃した」と個人の責任にしているが、団体交渉で「対応可能」と言っていたにも関わらず、自動的には開扉しなかった。「開扉遅延」は社員の責任ではなく、会社が導入したシステムに問題があったことによる。

② ところで、駅のシャッターには安全のために異物検知のセンサーがついていて、閉めるときに人間などを検知すると止まるようにできている。シャッターが開くとき、このセンサーが何か異物を検知すると自動的に開かないということになるらしい。この場合には、安全を確認したうえ、シャッターのところにあるボタンで解除しないと開かない。こんなことが時にはあるという。センサー感度を下げれば、安全に支障が出るというジレンマもある。また、北小金駅では駅遠隔操作システムは導入されていないが、今年六月一六日、初電前、終電時には何の問題もなかった一部の機器だけ

に電源が入らず、右往左往の挙句、指令に臨時の瞬停をしてもらって直したことがある。このような機器に電源が入らないという早朝の事故も、いつ起きるか予想はつかないのである。

③そこで、このシステムが常磐線に導入された場合に起きる問題を想定してみよう。常磐線の場合、新松戸駅が、南千住から天王台までの八駅を「超遠隔」で制御＝監視することになる。そのモニターの数からいって制御駅の負担は並大抵のものではない。しかも、ここでは会社が「見逃し」を起さないために行えという「目視での確認」も空文となる。

②もし運よくシャッター開扉遅延やタイマー電源の不良を発見した場合でも、その「遠隔」さからいって先行五駅のように数分で解決するものではなく、当該駅で終電扱いを終えてやっと二時頃仮眠に入った社員を電話で四時頃起こし、着替えて作業してもらおうということになる。「駅遠隔操作システム」とは、労働者の寿命を縮ませるとんでもないシステムである。（国労上野反合研「討議資料」より）

女子労働者が働き続けられる職場環境

―連合版「オトナの社会科見学」を読んで―

J R 女性運転士の一日

国鉄からJRに移行して多くの女性社員が駅業務、乗務員等、運輸関係職場で働く姿を見受けられるようになりました。

連合版「オトナの社会科見学」（第四一回）にJR総連東日本鉄道労働組合東京地方本部として、JR東日本東京支社池袋電車区（山手線運転士）の女性運転士の取材を通して乗務員職場の日常業務、設備等を紹介しています。

少し覗いてみましょう。絵と文での紹介がありますね。「山手線全長約三五キロ、二九駅、約一時間で一周します。一日の乗務は日勤で大体五周が基本ですね。」と書かれていますね。点呼場所の挿絵、携帯品類の紹介、アルコール検知器も当直前に置いてありますね。設備面では、お風呂場、宿直室、更衣室、休憩室が紹介されていますね。なになに、「休憩時間が短いので外に食べに出る間がないんですよ」とつぶやきの言葉が紹介されています。

「安全輸送の緊張とプライドを胸に」の見出しで、運転士暦六年目の女性、飯塚さんを紹介しています。「駅を二年半・車掌を二年半こなして国家試験の受験資格を得ることができまます。その後社内の研修センターで三ヶ月、さらに職場で八ヶ月の研修、それでようやく一人前の運転士です」からはじまり、そんな飯塚さんの次の目標は「新幹線の運転士になりたいですね!」と最後に結ばれています。

二ページそこそこの女性運転士の紹介にとやかく言うつもりはありませんが、労働組合が関わったものですから、気になったいくつかを、職場は異なりますが同じ鉄道の乗務員として書かせていただきます。

女性労働者の労働環境

男性職場の代表格でした「国鉄」、JR以降後に多くの女子労働者が鉄道事業にかかわることとなります。しかし、その女子労働者の置かれている環境については、制服姿の凛々しい状況と相容れない厳しい現実の労働環境が存在します。

男女雇用機会均等法の制定により、JR会社も女性労働者を多く採用するようになりました。特に運輸職場（駅・車掌・運転士）に多く採用されています。しかし、女子社員が定年退職まで働き続けられる職場環境になっているのかといえば、そこには大変疑問が起きます。私が目にするのは、早期退職の女子社員の多いことです。結婚退職、出産退職、セクハラ、パワハラ退職等々です。

紹介にありましたように、駅を経験し、車掌を経験してから運転士への昇進となります。「私は駅で仕事したい。私は車掌で一生を終わりたい。運転士にはなりたくない」これらの声は聞き入れられません。一つの事例ですが、駅業務を希望した女子社員に対し「制度だから乗務員に異動してもらいます」と希望が受け入れられませんでした。「乗務員になれば、子育ての両立はできないから退職することになります。」と話しています。また、女性乗務員と会話するとき、「子供がきたら辞めるしかないです」との話が必ずでてきます。現実に子育てしながら乗務員で働き続けている女性労働者は数名しかいません。この乗務員も、連れ合いの方が、たまたま他企業で勤務が日勤であることからどうか働き続けられているのが現状です。

妊婦者にとって日勤職場の確保は死活問題です。ひとつの具体的事例ですが、JR運輸職場の日勤職場は非常に限られています。乗務員職場では総務職場しかなく、職務の日勤職場へ異動するしかありません。しかし、駅職場でも限られています。そこで、日勤職場確保の競争が必然的に生じることとなります。競合した女子社員は、日勤職場への希望が実らずに退職への選択肢しか見つかりませんでした。

今、少子化が社会問題になってきています。しかし、現実の社会は、JR職場の例を見るまでもなく、「働きながら子供を育てる」環境が非常に遅れています。企業の責任は重いといえます。「二四時間いつでも預けられる保育所を企業が各地区地区に設置することを望みたいです」「軽減勤務がつけられると助かります」と女子乗務員は話してくれます。

労働組合の課題として、女子労働者が「働き続けられる職場環境」の取り組みは緊急の取り組みではないでしょうか。連合版「オトナの社会科見学」では是非、「各企業における女子労働者の置かれている実情」をレポートしていただきたい。（大山 元）

川内原発1・2号の地震動評価

―原子力規制委は、「原発の安全性を保証する機関」と、

勘違いされてはいませんか？―

再稼働めぐり勉強会

四月一九日（土）～二〇日（日）、若狭ネットの長沢啓行先生をお招きし、現在稼働停止中の全国原発の先駆けとして、新規制基準適合性審査の対象となっている川内原発1・2号機基準地震動についてのセミナーを開催した。次いで二四日の火山講演

会、五月二四日の国会事故調田中三彦さん講演会で、「川内原発再稼働との闘い」の旗印が立つ。

長沢先生は大阪大学の機械工学科での原子力ムラへの道から転身され、生産システム工学の道を選択された。最近自力で地震動研究への道を開拓され、若狭ネット資料室を立ち上げて、福井の原発銀座、若狭で、関電とのいくさを担って来られた。以下長沢先生から学び、僕なりに理解したことを説明させていただきたい。

原子力規制委 その役割は「審査」

三・一一後、原子力安全委員会は原子力規制委員会へと衣替えされ、稼働停止中の全国原発について、それなりの審査がはじまっている。

しかし原子力規制委員は、原発の全てを網羅する専門家ではない。例えば、最近川内に来られた島崎委員は、地質と断層、地震学の専門家ではあるが、火山については素人の域を出ない。そして心しておくべきは、原子力規制委員会なるものは原発再稼働に際して、「原発の安全性を保証する機関」ではなく、新たな「規制基準」に適合するか、否かを「審査する」機関に過ぎないことだ。

田中規制委員長は、「(審査クリアーで)再稼働原発の安全性は保証されるのか」という記者団の質問に、「それは電力会社の責務」と回答され、「(再稼働の)原発事故はゼロではない」とも言われたという。もともと原発の安全性は、国によって保証されるしくみになっているわけではなく、それはあくまで電力会社の手中にある。そして原発再稼働への「適合性審査」自体、原子力規制委員が担っているわけではなく、原子力規制庁の官僚がやっていることだ。そして原子力規制庁の官僚自体、素人集団に過ぎず、事実上の専門家は電力会社の技術者達なのだ。

「川内原発再稼働」へ、基準地震動が六二〇ガルと決まり、それをクリアーする「申請書」作成を九州電力の専門家、技術者達が担い、それによって素人集団の規制庁の官僚達が「審査書」を作成するしくみになっている。

「規制委員会の審査を通れば全てオーライ」とされる、伊藤鹿児島県知事、岩切薩摩川内市長！ 何か勘違いされてはいませんか？

福井地裁では勝利！ しかし…

五月二一日、福井の大飯原発再稼働差し止め訴訟の判決が出された。「大飯原発の基準地震動を七〇〇ガルとした関電の想定を『信頼に値する根拠はない』」(朝日新聞五月二二日付一面)とある。

「原発再稼働阻止」を目指す僕らには朗報ではあるが、これだけで川内原発1・2号基準地震動六二〇ガル確定を揺さぶることができるとは思われない。

この間「基準地震動」の問題を鹿児島島の原発運動の中心を担う方々に話しかけてみたが、しばし沈黙の後、「わからん」というお返事をいただくばかり。急ぐのは止して淡々と、「8・6ニュース」(筆者が編集に携わる市民運動のニュース)の記事に書いて、資料をつくって、ポチポチとミニ学習会をといて気になっていたが、大飯原発判決で、少しは「基準地震動」が世に出ることになったかと思う次第。

基準地震動

「六二〇ガル」の「ガル」と言われた途端、よほどの原発活動家でも「??」と思考が止まってしまおうようだ。「ガル」とは加速度の単位、地球の重力の加速度が九八〇ガル、一九九五年の阪神淡路大震災の地震動が八一八ガル、一九九七年の鹿児島県北西部地震の地震動が宮之城で九〇二ガルということだ。宮之城は川内原発から二〇キロ、阪神淡路大震災より大きな地震動だった（川内原発を巨大地震が襲うより）。原発の耐震性審査の元になる「耐震指針」は、旧原子力安全委員会の下で、二〇〇六年九月に制定された。二〇一一年三月一日後、福島事故への対応として昨年六月に「新規制基準」が確定（七月八日施行）、中身は〇六年に制定された「耐震指針」を踏襲したもの。「基準地震動」確定に際して、「1、敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」と、「2、震源を特定せず策定する地震動」を評価し、「基準地震動」を確定する。

「基準地震動」六二〇ガル確定までのあらすじ

「1、敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」審査の途上で、地震調査推進本部という文部省管轄の政府機関から、「九電の断層は短すぎる」と指摘された。例えば串木野から東シナ海の海底に繋がる五反田断層について、延長一九キを二五キにするよう提言があり、規制委員会がこれを促した。九電はしぶしぶ作業のやりなおしにかかり断層延長は長くしたが、断層モデル策定の数値（「アスペリティ応力降下量」）を小さく設定した。また阪神淡路大震災以降のM7クラスの地震動観測記録を含まない耐専スペクトル（応答スペクトル）が適用されている。計算結果が六二〇ガルに収まったのではなく予定の基準地震動に収まるような、恣意的な操作がなされたということだ。

「2、震源を特定せず策定する地震動」評価として、検討対象とされた二〇〇四年一二月の北海道留萌支庁南部地震動六二〇ガルに収まるように仕組まれ（五四〇ガル↓五八五ガル↓六二〇ガル）、結果六二〇ガルに「基準地震動」が確定という手順だった。ちなみに一一年三月一日後に当時の原子力安全・保安院が行ったストレステスト（一次評価）では、炉心溶融事故を防ぐギリギリの地震動（「クリフエッジ」）は、川内1号で一〇〇四ガル、川内2号で一二二〇ガルと評価されていた。「この記述は若狭ネット長沢啓行先生の労作、「川内1・2号の耐震安全性は保障されていない」による。」

以上「基準地震動」六二〇ガルに至る計算の手順をはしょったが、これが「世界一きびしい基準」の内実だ。

一九七七年一二月の川内原発1号原子炉設置許可時の基準地震動は二七〇ガルだった。それが今、基準地震動六二〇ガルがいつも簡単に通る、審査に入っていること自体おかしくないだろうか？ 九電の「ゴマカシ」とそれを許容する原発再稼働への審査体制に一步一步接近していききたい。

（北畠 清仁）

第二の人生 “軌道” に

―藤保ご夫妻、若手ソバ農家とともに―

「国鉄闘争」集結から二年、元闘争団員・家族の皆さんはゆっくりと着実に、「第二の人生」への道を歩まれています。札幌市在住の元労組組合員・松里福慈さんから藤保文夫・美年子夫妻の近況を報じた北海道新聞（五月一八日付）を掲載したところ、全国の読者から「藤保ご夫妻の住所を教えてください」との反響がありました。

藤保さんからお便り 七月はじめ藤保夫妻から、「国鉄闘争の解決は人生のやり直しの始まりで この二年間 女房と 朝早く 夜遅くまで働いてきました。冬は除雪で寝るまで除雪の為 寝ていると両足が痙攣（けいれん）の毎日。痛くてとかく大変さは色々ありますが 自分達のお店が新聞に出たり（四回目）、子供達が喜んでくれたりしますので 頑張りがあります」とのお便りとともに、藤保ご夫妻が手がける「大地の恵み食品工房」現状を寄せてくださいました。

大地の恵み食品工房 毎朝五時三〇分に、ようかん作業が始まり始発列車が窓から見える頃には、小豆の香りが厨房一杯に広がります。日本でも有数の寒冷地である音威子府の冬場は外気温が氷点下二〇度にもなりますが、工房の温度計は三二〜三八度。

小倉ようかんは、小豆を手選し、製造の前日に洗い、当日洗ってから一度沸騰させます（一番沸きり）。私はその時に小豆を一粒ずつ見て、煮えていない豆を選別し捨てます。そして豆が煮崩れないように煮込みます。その後、煮溶かした寒天と砂糖（ピート糖）の中に煮た豆を入れ、丁寧に練りあげます。銅鍋の中は、グツグツ沸々して飛びはねますが木製のヘラで練り続けます。気持ちを引き締め仕上げます。妻は、計量等を担当しますが作業中に話をする事はありません。製造は母にも手伝わってもらっています。

北海道の代表商品に仲間入り そんなようかん作りが十月、「北海道どさんこプラザ（道産品のアンテナショップ）」のテスト販売に採用され、新聞記事にも掲載していただき、とても嬉しく思いました。

今年の七月からそのアンテナショップの札幌店では、小倉・梅・栗吹雪の三種類が定番商品となり北海道を代表する商品のお仲間入りとなりました。甘さ控え目、風味が良く、パッケージも良し！と関係者の厳しい基準を乗り越えることができました。師匠から修行の時に言われた「良いようかんができるようになって、経済ばかり意識すると品質が落ちるから、お客様に失礼のないようかん作りに頑張りなさい」。この言葉を忘れず丹念に作っています。

咲来そば 藤保ご夫妻がさらにとりくまれているのは食事処「咲来」での「咲来そば」と半生「咲来そば」の提供。音威子府村の咲来（さつくる）地区に就農一〜二年目の若手そば農家（二世帯五人）そば畑一五〇ヘクタールで栽培する玄そば粉一〇〇％使用した5・5そば。『咲来そば』で村起こし、気持ちひとつに奮闘されています。

◇ 読者からのおたより ◇

釣れた！ イトウ九〇センチ超 例年の北海道、今回は新潟の支援者と十八日の夜、船で発ち昨晚戻りました。写真は二日に道北で釣ったイトウです。重さも長さも正式には分かりませんが、翌日釣ったイトウの八三センチに比べてだいぶ大きかったです。多分九〇センチ近くあると思います。2号のフロロカーボン通し・延べ竿です。ミミズです。ルアーをおわなくてもこの時期ミミズには食いつくようです。翌日始めて一五分で一尾釣り、その後は友人の釣りを見ていました。小林二尾、高橋一尾、小西バラシ一尾でした。赤峰さんに作っていただいたタモは、今回もイトウが大きすぎ、使わずじまいでした。四〇センチ程度のニジマス数尾には使いましたが。 (新潟・小林義昭)

編集部より やりましたね。大昔、小西氏が「釣れた！」と、一メートル超の写真を送ってくれたことがありました。現地でも久びさの大物なのは。当方にもご利益ありました。釣り好きの魚屋の大将に、「こんなの釣ったのがある」。魚をさばっていた手を休め、手を洗い布巾で拭いておもむろに写真を手に。そして、今日は「タダでいい」。イトウでブリのカマ釣り上げました。

偽装メール メールアドレスを変更したのでお知らせします 新アドレス〇〇〇〇です。よろしくお願ひいたします。踏み台ではなさそうですが偽装メールに違いないと思われるメールが届きました。詳しくは次回訪問したときに。 (千葉・H)

編集部より お目にかかった折、内容をくわしく聞きたいです。原稿です とにかく、今の問題意識で書いてみました。使えそうでしたらどうぞ活用して下さい。いまいちでしたら削除して下さい。私はどちらでも結構です。 (東京・Y)

編集部より 原稿感謝。もちろん使わせていただきます。一部郵送願ひます 「旬刊社会通信」一部郵送願ひます。五千円入金いたします。 (茨城・S)

編集部より 新規の申し込みに感謝です。ご感想などお寄せいただければ嬉しいです。メール送信拡大 ご苦労さまです。S他一名分送金します。メール送信購読拡大願ひます。アドレスは〇〇〇〇です。私と同様七月からよろしいです。 (北海道・S)

編集部より いつも心にとめていただき、今回も拡大に感謝です。メール便は本人から 四く九月分、四人。メール便は本人が送金します。(荒尾市議・池田章子)

編集部より お世話になります。メール便の方から送金ありました。カンパも。ありがたいです。カンパ 誌代(H26年7月、H27年6月分)一年間十カンパ。 (北海道深川市議・太田 幸一)

編集部より いつもありがとうございます。残はカンパです 二〇一四年八月より一年分と残はカンパです。 (東京・H)

編集部より ありがとうございます。大切に活用させていただきます。メール不調 誌代送ります。メール不調でごめんなさい。 (山口・T)

編集部より 誌代さらに届きました。勝手にお送りした分の誌代は不要なのでした。継続は力なり おつかれさまです。遅くなり申しわけありません。少しずつですが若い者が確実に育っています。二年先、三年先、そして一〇年先を見ずえて、継続は力なり。 (〇)

編集部より 地道なご活動に励まされます。今後ともよろしくお願ひいたします。

地区労運動の継承のため 若い人が地区労運動の継承のため連合運動をすすめています。組合の組織率も低下しており大変ですが、私たち「地域ユニオン」として、全面的にバックアップして、運動の発展をめざしています。 (北海道占冠村議・五十嵐正雄)

編集部より お約束果たせず、心のおりとしてたまっていきます。

戦争法制を止めたい 来年三月分までの購読料です。余りがあればカンパにします。ひとりから入できるユニオンに入り、学習のしなおしです。労働者運動で、戦争法制を止めたい。(松山・N)

編集部より カンパと熱い想いのお便り、ありがとうございます。残金は心ばかりのカンパです。 (岐阜・K)

目からウロコ！ 「額に汗して働く者」の視点を中心に労働運動、政治・経済・社会問題に鋭く切り込む『旬刊 社会通信』という小冊子が発行されています。短いものばかりですが、内容が豊かで、「目からウロコ！」という感じで教えられるところが多いです。現在メール購読は「月175円」と安価。皆様、ぜひ、ご購読なさいませんか？ これ、私の投稿を載せていただいたから、つてお勧めしているわけではなく(笑)、内容が、本当に素晴らしいからです！ (増田都子)

編集部より メールリングやHP等での宣伝に感謝です。お陰さまで「社会通信」増えてます。